

令和 4 年大井町議会第 2 回定例会

一般質問書

令和 4 年 6 月

通告順	質 問 事 項	質問者	(分) 時間	頁
1	・ 災害に強い安全なまちづくりについて ・ 地域公共交通計画について	清水亜樹	6 0	1
2	・ 自治会と町の協力関係について問う ・ 大井中央公園と湘光広場のすみ分けについて問う	和田紀昭	6 0	2
3	・ 安全・安心の町づくりを目指した「大井町国土強靱化地域計画」について	岡田幸二	6 0	3
4	・ 緊急輸送対策と無電柱化について ・ 町のイベント開催について ・ 急傾斜地崩壊対策事業について	鈴木磯美	6 0	4
5	・ 幼稚園、保育所の現状と将来像について ・ 公用車のエコカーへの推進について	田村俊二	6 0	5
6	・ コロナ禍、物価高騰に対する、子育て支援対策について ・ 公衆無線 LAN (Wi-Fi) の整備について ・ 金子開成和田河原線 (町道 9 号線) について	重田有紀	6 0	6
7	・ 本町におけるデジタル田園都市構想について問う ・ 小田町長の今後の町政に対する姿勢について問う	黒岩陣太郎	5 0	7
8	・ 学校保健について問う ・ 少子化・子育て対策について問う	山崎真弘	5 0	8
9	・ おおいゆめバスの現状と今後の方向性について ・ 待機児童対策とおむつの持ち帰りについて	大石 舞	6 0	9
10	・ 新興住宅街の袋小路で騒ぐ「道路族」について町の認識は ・ 「大井町気候非常事態宣言」の具体策について伺う	牧野一仁	6 0	10
11	・ 健康を支援する環境整備について問う	伊藤奈穂子	6 0	11

質問者	通告 1 番	通告時間 60 分
	1 2 番 清水 亜樹 議員	答弁者 町 長
質問事項	1 災害に強い安全なまちづくりについて 2 地域公共交通計画について	
要 旨	1 災害から町民の生命、身体、財産を守るためには、平時からの備えや体制などが重要である。そこで災害対策等についての考えを伺う。 (1) 今年度、地域防災計画が改定されるが、主な改定のポイントは。 (2) 今年度、新たに起用された防災監の役割と今後の活用は。 (3) 防災機能を有した大井中央公園が先月開園したが、地域防災計画における位置づけと今後の活用は。 (4) 今年 4 月より第 5 分団が篠窪地区を管轄することとなったが、第 6 分団の消防車両の処理は。 2 本年 3 月に「未来へつなごう！みんなが気軽におでかけできるまち」を基本理念に大井町地域公共交通計画が策定された。そこで課題点や今後の方向性などについて伺う。 (1) 先月から巡回バス「おおいゆめバス」が本格稼働されたが、周知の方法は。 (2) 高齢者・障がい者など交通弱者への対応が、地域公共交通の課題として挙げられているが現在の対応状況は。 (3) 児童・生徒の通学への対応状況は。 (4) 他市町との連携の状況は。 (5) 巡回バス「おおいゆめバス」のオープンデータ等によるデジタル化の検討は。	

質問者	通告 2 番 4 番 和田 紀昭 議員	通告時間 60 分
		答弁者 町 長
質問事項	1 自治会と町の協力関係について問う 2 大井中央公園と湘光広場のすみ分けについて問う	
要 旨	1 自治会は住民相互の連絡等の地域的な共同活動を行い、地域社会において重要な役割を担っている。しかし、現在全国的に地域におけるコミュニティ機能の低下、構成員の高齢化や担い手不足で自治会加入率の低下が問題視されており、大井町でも早急に対応しなければならない課題となっている。また災害時では東日本大震災においても地域コミュニティの役割、重要性が再確認されている。このような問題に対し町ではどのような対応をしているか以下の4点について伺う。 (1) 現在、転入者に対してどのような加入促進方法をとっているか。また、退会希望者にどのようなアプローチをするか、自治会にアドバイスできているか。 (2) 大規模災害時、自治会との協力関係の取り決めはあるか。 (3) 町の広報は行政の大事な情報発信源となっている。配布を自治会にお願いしているが全戸配布するべきと考えるが。 (4) 本町では自治会担当職員制度を促進しているが、コロナ禍における活動状況は。 2 先日グランドオープンした大井中央公園は町民の方の評判も良く多くの利用者があり、大変素晴らしい施策であったと考える。しかし、今後湘光広場とのすみ分けや有効活用が必要と考えるが町の考えは。	

質問者	通告 3 番 6 番 岡田 幸二 議員	通告時間 60 分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	安全・安心の町づくりを目指した「大井町国土強靱化地域計画」について	
要 旨	激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策として、「人命の保護」が最大に図られるよう、道路や学校施設等インフラの老朽化対策、防災気象情報の高度化等の対策につき、地域計画をこの3月に策定した。 この計画はハード面に限らず、有事の際の「迅速な復興」を目標にしており、復旧体制等平時での取り組みが重要となっている。第6次総合計画の取り組みともオーバーラップする面が多々あるが、その内容につき以下に問う。 1 直近の豪雨時に問題となった箇所の対応と避難所開設の考え方について 2 今回配布されたハザードマップについて (1) 平成30年3月に改定し配布しているが、見直しされている点は。また、住民における活用方法は。 3 関連する大井町地域防災計画について (1) 大井中央公園や防災倉庫の完成に伴う見直しの内容は。 (2) 町の備蓄と自主防災備蓄（資機材装備を含む）の整合性は。 (3) 実際の被災を想定した訓練は。 4 防災教育の必要性について (1) 小中学校での防災教育及び避難訓練は。 (2) 災害の自分事化（「防災小説」の取り組み等）は。	

質問者	通告４番 ８番 鈴木 磯美 議員	通告時間 ６０分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	１ 緊急輸送対策と無電柱化について ２ 町のイベント開催について ３ 急傾斜地崩壊対策事業について	
要 旨	１ 町では、災害時の緊急輸送道路としての機能確保や避難路としての機能発揮に考慮した計画的な整備を進めるとしているが、近年頻発する災害や高齢化等に対応するため、以下のことを伺う。 （１）緊急輸送道路を見直す考えは。 （２）緊急輸送道路を無電柱化にする考えは。 （３）都市計画道路和田河原・開成・大井線を無電柱化にする考えは。 （４）今後の無電柱化に対する町の考えは。 ２ コロナ禍で町が行うイベントは社会状況等を考慮し対応しているが、少子高齢化が進むなか、見直しの必要性があると考え、以下のことを伺う。 （１）町民体育大会の開催方法を見直す考えは。 （２）大井よさこいひょうたん祭に参加料を加える考えは。 （３）町が主催する各種イベント内容を再考する考えは。 ３ 最近の災害で急傾斜地崩壊対策の意識が高くなり、町もハザードマップの変更等で周知しているが、以下のことを伺う。 （１）急傾斜地事業の指定方法は。 （２）国や県に対し指定の基準見直しを要望する考えは。	

質問者	通告 5 番 1 0 番 田村 俊二 議員	通告時間 6 0 分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	1 幼稚園、保育所の現状と将来像について 2 公用車のエコカーへの推進について	
要 旨	1 大井町第 6 次総合計画が策定され、前期基本計画、第 1 次実施計画が示された。このなかで教育・子育て環境の充実は、重要施策として位置付けられている。昨年 6 月に、また、本年第 1 回定例会において同僚議員による関連の一般質問がされたところであるが、次について伺う。 (1) 今年度の幼稚園、保育所の園児数・定員充足率は。 (2) 今年度の実態評価は。 (3) 幼稚園一時預かり保育の現況は。 (4) 幼稚園、保育所の適正規模と今後の児童数推計は。 (5) 認定こども園開設に伴う公立幼稚園・保育所の将来像は。 (6) 公立幼稚園・保育所と民設民営の場合のコスト比較は。 (7) 公立幼稚園・保育所として運営する必要性は。 2 昨年、第 4 回定例会において議会は「気候非常事態宣言に関する決議」を議決した。本年第 1 回定例会で、町は議会と共同宣言を行うための議案を提出。「2 0 5 0 年までに二酸化炭素排出実質ゼロをめざす。」ことを表明した。そこで、次について伺う。 (1) 大井町「COOL CHOICE (クールチョイス) 賛同登録」の実態評価は。 (2) 公用車の次世代自動車への転換状況と導入計画は。 (3) 防災倉庫太陽光発電を公用車 E V 充電用に活用すべきでは。	

質問者	通告 6 番 3 番 重田 有紀 議員	通告時間 60 分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	1 コロナ禍、物価高騰に対する、子育て支援対策について 2 公衆無線 LAN (Wi-Fi) の整備について 3 金子開成和田河原線 (町道 9 号線) について	
要 旨	1 新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、物価高騰による家計への打撃は大きい。生活困窮者と位置付けられていない世帯にもその影響は及び、幅広い層への支援と、特に、子どもたちがその影響を受けないための対策が必要であることから、以下のよう に伺う。 (1) ファミリーサポート利用者支援の考えは。 (2) 児童コミュニティクラブ利用料の減免要件の見直しは。 (3) 給食費減免と質の担保は。 2 Wi-Fi は、災害時でも効果的に情報を受発信できる通信手段として有効とされており、総務省においても、防災等に資する Wi-Fi 環境の整備計画を策定、整備を推進している。その必要性は防災に資することだけに留まらず多岐に渡ることから、以下のよう に伺う。 (1) 避難所等の環境整備は。 (2) 学生の学習環境整備は。 (3) 観光拠点への整備は。 3 町道 9 号線の工事がいよいよ開始された。未来への期待と同時に、小学校に隣接することから、工事期間中と完成後の不安も聞こえてくる。児童生徒の安全確保が最優先課題であるという認識を共有するため、以下のよう に伺う。 (1) 信号設置の検討は。 (2) 通学路変更への対策は。 (3) 今後の町民への周知方法は。	

質問者	通告 7 番 2 番 黒岩 陣太郎 議員	通告時間 5 0 分
		答弁者 町 長
質問事項	1 本町におけるデジタル田園都市構想について問う 2 小田町長の今後の町政に対する姿勢について問う	
要 旨	1 目指すべきデジタル社会の実現に向けて、政府が迅速かつ重点的に実施すべき施策を明記し、デジタル庁を始めとする各府省庁が構造改革や個別の施策に取り組み、令和 3 年 1 2 月 2 4 日に新しい重点計画が閣議決定され、示されている。 誰一人取り残さないデジタル化に向け、本町においても急務であることから以下について伺う。 (1) デジタル田園都市国家構想推進交付金（地域の課題解決や魅力向上に取り組む事業のうちタイプ 1）が採択されたがその内容は。 (2) デジタル化で目指す町の姿は。 (3) 役場 D X はどう考えているか。D X 推進チームの取り組み内容は。 (4) B P R（業務改善）が必要では。 2 町長は就任して 3 年半が経つが、これまでの町政に対する総評と今後の思いについて伺う。 (1) これまでの公約の進捗状況は。 (2) 残された任期の取り組みは。	

質問者	通告 8 番 5 番 山崎 真弘 議員	通告時間 50 分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	1 学校保健について問う 2 少子化・子育て対策について問う	
要 旨	1 新型コロナウイルス感染症の流行が長期化する中で、学校において児童生徒等の健康を守ること、また、集団生活の中で学校教育に必要な環境衛生、安全対策、保健指導について本町の考えを伺う。 (1) 熱中症における対策は。 (2) 給食センター及び学校での衛生管理は。 (3) 教室等の環境衛生対策は。 2 少子化の進行は極めて危機的な状況であり、また、若い世代の経済的困窮、出産・将来に向けた育児への負担などの不安解消に向け、子どもを産み育てていく環境を整備していくこと、また、未来を担う子どもの安心確保のための環境づくりにおける本町の考えを伺う。 (1) 少子化対策は。 (2) 子育て支援対策は。 (3) 「こども家庭庁」創設に向けた町の取り組みは。	

質問者	通告 9 番	通告時間 60 分
	1 番 大石 舞 議員	答弁者 町 長
質問事項	1 おおいゆめバスの現状と今後の方向性について 2 待機児童対策とおむつの持ち帰りについて	
要 旨	1 ゆめバスは今年度 5 月より富士急湘南バス株式会社による運行となり、町民からは様々な意見が寄せられている。利用者を増やすためには町民への周知をはじめ、利用しやすい運行形態にしていくことが欠かせない。そこで以下について伺う。 (1) 1 か月の利用状況は。 (2) 利用料を 200 円にした根拠は。 (3) シルバーパス等、高齢者の負担軽減のための施策導入は。 (4) バス停以外での乗降車等、利用者に寄り添った運行への改善は。 2 来年度町内に民間の子ども園が開園予定であり、待機児童解消が期待される。しかし、今年度も待機児童は出ており、早期対策ときめ細やかな制度設計も必要である。 また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、使用済み紙おむつの持ち帰りが問題視され、民間が全国調査し改善を要望したことが注目されている。そこで以下について伺う。 (1) 今年度の待機児童数と待機児童対策は。 (2) 保育園申請時における同居家族の就労証明書の提出について、60 歳未満へ引き下げる考えは。 (3) 子ども園の開園に向けた進捗状況は。 (4) 使用済み紙おむつを園で回収し、廃棄する考えは。	

質問者	通告 10 番 11 番 牧野 一仁 議員	通告時間 60 分
		答弁者 町 長
質問事項	1 新興住宅街の袋小路で騒ぐ「道路族」について町の認識は 2 「大井町気候非常事態宣言」の具体策について伺う	
要 旨	1 新興住宅街の袋小路となっている道路で遊ぶ子どもや、その親の振る舞いが住民トラブルとなるケースが全国的に話題となっている。都市化が進む大井町においても同様なトラブルが起きている。 この問題については行政が扱うようなことではないと思うが、町に相談やクレームなどが来ているか伺う。 2 大井町気候非常事態宣言の具体策について伺う。 (1)「省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの活用等に取り組むことで、脱炭素社会の実現に向け、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロをめざします」とあるが、その具体策と予算化されている地域再生エネルギー導入検討調査の内容について伺う。 (2)「気候変動の危機的状況を町民、事業者、行政などあらゆる主体が広く情報を共有し、協働して気候変動対策に取り組む」とあるが、その具体策と町民、事業者と連携・協働の体制をどのように築くのか伺う。	

質問者	通告 1 1 番	通告時間 6 0 分
	1 3 番 伊藤 奈穂子 議員	答弁者 町長・教育長
質問事項	健康を支援する環境整備について問う	
要 旨	誰もが心身共に健康で元気に暮らせることが多くの方の願いである。生活習慣病の予防をすることや、病気の早期発見、早期治療により命を守り、より良い人生の確保に繋がると考える。 本町において、健康に関する事業や各種の検診が行われているが更なる充実が必要と考え以下について伺う。 1 母子保健事業の充実 (1) 3歳6か月検診を受ける全ての幼児に弱視の発見に役立つ「フォトスクリーナー」と呼ばれる屈折検査機器を導入する考えは。 (2) 新生児聴覚検査費用を公費助成する考えは。 2 乳がん検診の充実 (1) 乳がん検診の受診率は。 (2) 乳がん検診に、乳腺の密度の高い方や若い方に有効である超音波検査を導入する考えは。 3 健康寿命を延ばす取り組み (1) 未病センターおおいの利用実績と効果は。また課題は。 (2) 総合体育館にあるトレーニングルームの利用実績は。 (3) 町内の公園に健康遊具を設置する考えは。 (4) インクルーシブ遊具について見解は。	